

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進		
施策	③都市と自然の共生			
(施策の小項目)	—			
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業	実施計画 記載頁	45	
対応する 主な課題	○沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する優良亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及等を行う。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		10件 緑化活動件				→	県
	亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及、緑化重点モデル地区への植栽						
担当部課	環境部環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	—	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進する。そのため、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体の普及を行った。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進した。	—
活動指標名			計画値	実績値
緑化活動件数			10件	10件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	「フクギ」、「クメノサクラ」等の亜熱帯花木の普及に取り組んだ。また、緑化重点モデル地区における緑化活動に対して緑化技術情報提供等の支援を10件行い植栽を推進したことから順調と判断した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進する。そのため、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体の普及を行う。また、計画に基づき、緑化重点モデル地区への植栽を推進する。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供する。	インターネット等を通じて、県内の緑化活動団体に対して広く「緑化・維持管理技術書」の普及を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民による緑化活動件数	59件 (26年)	59件 (27年)	60件 (28年)	↗	—
状況説明	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づく、「全島緑化県民運動の展開」、「森林の造成」、「海岸の緑化」、「道路の緑化」、「公共施設の緑化」、「緑化思想の普及啓発」等の各緑化施策の総合的な推進が、緑化活動件数の増加につながっている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

○内部要因
—

○外部環境の変化
・緑化活動団体から緑化技術等の支援が求められている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・緑化活動団体へ緑化技術等の情報提供等を行う。

4 取組の改善案(Action)

・緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進		
施策	③都市と自然の共生			
(施策の小項目)	ー			
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業	実施計画 記載頁	45	
対応する 主な課題	○沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	緑化事業を県民一体となって推進するため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催や、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	行政、団体、企業等との協働による緑化活動の支援		新たな事業による緑化活動の展開			→	県 市町村等
担当部課	環境部 環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
全島緑・花・香いっぱい運動事業	5,812	4,910	・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催(H29年2月)。 ・県内農林高校6校で苗を生産し、学校及び地域へ配布する事業(花のゆりかご事業)を実施。 ・CO2森林吸収量認証制度において5事業者に対し、CO2吸収量認証を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
全島緑・花・香いっぱい運動件数			ー	84
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、学校・地域住民等が行う緑化活動の支援により県民一体となった緑化活動が各地で実施された。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
全島緑・花・香いっぱい運動事業	9,593	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催 ・企業との協働による花の名所づくりの実施 ・花のゆりかご事業の実施 ・CO2森林吸収量認証制度の周知及び運用 ・緑の回廊事業の実施 	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①緑化事業は長期的な取組を実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、新たな取り組みとして、沖縄県CO2吸収量認証制度の運用を開始し、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。	①企業、学校、地域住民等の緑化活動を継続的に支援し、緑化活動の普及啓発を図った。また、企業等による緑化活動の推進拡大を目指し、新たに沖縄県CO2吸収量認証制度の本格施行を行い、5事業者に対し、CO2吸収量の認証を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民による緑化活動件数	59件 (26年)	59件 (27年)	60件 (28年)	↗	—
沖縄県植樹祭 参加者数	宜野湾市 約1,100名 (26年)	名護市 約950名 (27年)	宮古島市 約900名 (28年)	↘	王國祖樹祭 約6,000名 (28年)
状況説明	沖縄県植樹祭は、県土緑化の重要性を普及啓発するため、緑化推進運動の中心行事として、昭和26年から毎年開催している。小幅な増減はあるが、地域住民、企業等も多数参加し、県内における緑化推進に係る普及啓発が促進された。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化を推進するための部局横断的な取組みが十分でない。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発や都市化の進展に伴い、都市周辺や郊外において、緑化活動に供せられる土地を見つけることが難しくなっている。 ・企業との協働による花の名所づくりにおいて、緑化活動に積極的に取り組む企業等が少ない。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・更なる緑化の推進を目指し、行政主導型から民間主導型の緑化活動への転換を図るとともに、経済効果や地域振興へ繋がる取組みを検討・推進し、緑化活動の気運を高めていく。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業は長期的な取組を実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、CO2森林吸収量認証制度の運用により、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。
--